

中央会今昔物語

今年もトライアスロンの季節がやって来た。そこで我が中央会の出場メンバーを今昔物語ふうアレンジして紹介していただく。

柴野清会員 中央会ベストアスリート (通称: サビチェビッチ)

言わずと知れた伝説の主人公、紙面に書ききれないほどの逸話をのこす。ここでその迷語録を少しだけ!

「私は鈴木です。」間違っって見知らぬ人の家で寝ていたとき咎められて出た言葉。「わしゃ〇〇にコンプレッサーを感じるだがん」正しくはコンプレックス。自分が壊した物に対して「誰だかいなこんなに悪りことするやつわ!」翌日正気に戻って。(覚えてないので本気で怒る) 今年が卒会、心から言いたい「伝説を有難う、さよならサビチェビッチ」と。

野嶋功会員 (通称: チョンマゲレンタカー)

若手と思われがちだが、はや在籍16年中央会の生き証人と言っても過言ではない。得意技はチョンマゲと“金を払っての説教”(後で肉体の叫びにがまんできなくなり他人に迷惑をかける)更に宴会では鍛えた肉体を自慢げにさらす。トライアスロン出場回数も多くほとんど完走。しかし競技途中で横になっての休憩・ビールの飲酒癖はいただけない。

和田健二OB (通称: 夜の水先案内人)

もうこの人にかかったら何でもあり。会を福岡から遠隔地操作、伝説の仕掛人とも言われている。ただトライアスロンにかけるとは人一倍で「トライアスロンと出会って肉体も精神も変わった」と言う。肉体は確かに変わったが精神はいい方に変ったのか否か? 理解に苦しむ会員も多い。

社行会で見るパフォーマンス、今年も期待している。がんばれ中洲テポドン。

松岡正高OB (通称: 生きて帰れ松岡)

華奢な体は「完走でき〜だかや」と会のメンバーは毎年心配するが、「あれ松岡さんもうゴールしなったの?」と呆気ないまでに涼しい顔で完走。通称もそろそろ「気がつけば」松岡に変更しなければならないのでは? 但しこの方の伝説は冗談になってないので書けません。

おまけ

長谷川一成会員は残念ながら選考にもれませんでした。今年はタイムカットが30分繰り上がりいつもギリギリでゴールするのでは完走は無理と判断されたのでしょうか? いえそうではありません。出場できたならきっと彼はまたギリギリでゴールするでしょう。

聞いてごしない Part 13

「いまどきの若い者は…」という言葉がよく使われた時代があったが、今はどうだろう。それを乗り越えて、悲惨な事件が新聞紙上ににぎわしている。「いったいどうなってるんか。」我が子を見て「この子は大丈夫だろうか」と思い悩む昨今である。【切れる】そんなのだが、そういえば今までの長い人生で何度か【切れそう】になったことは確かにある。でもその一線を越えることは幸いなかった。このことは誰しもが経験していることだろう。何か問題に突き当たってストレスがたまると。その捌け口がなければ自ずと【切れる】行動に走ることになる。やはりなんでも話や相談できる友が必要なのである。

中央会とは実はそんなところではないだろうか。会に入って今まで知らなかった人間と繋がりができ友ができる。仕事のこと、遊びのこと、不安なこと、楽しいこと、何でも話せる友達が果たして総勢140名弱の中で何人出来るのか。これがこの会に入ったことの価値になる。

だから進んで会の行事に参加すべきだろう。人を磨くためこの会をいい意味で利用することが会員諸君のためなのだ。そして、仕事や私生活での活躍を大いに期待している。楽しい意義のある人生にしようではないか。

〈片田舎の偏屈オヤジ〉

編集後記

サッカーの後遺症が、まだ少し残っている。あんな激しい運動をしたのは、何十年振りだろうか。気持ちはあっても、足が動かない。不甲斐ない次第であったが、実に楽しかった。まるで、私の広報委員としてのこの一年間の思いを、表しているかのようだった。新しい委員会でも、楽しくやっていきたい。そして、次号からの新しいハンサムに期待します。また、一年間紙面作りに、御協力して頂いた皆様方に感謝致します。ありがとうございました。“新年度に向けシュート!”

コピーをして名簿にお貼り下さい

(総務)  **高橋 隆一** O型 営業
 株式会社メビウス 広告代理店 (TV・R&CM、新聞広告、各種印刷、イベント看板等)
 〒683-0804 米子市米原 4丁目5番60号
 TEL 32-7133 FAX 22-1867
 (KT) (EM)
 H12.06入会 (推薦者) 金田(和) 花園(直) 〇宅) 米子市尾高599-5番地
 〒689-3514 S36.1.25 TEL 27-7757

〈コメント〉
株式会社メビウスの高橋隆一と申します。この度は中央会への入会を御承認下さり、誠に有難うございました。会の事はまだ良くわかりませんが、多くの異業種の先輩方と交流させていただくと云う事は私にとりまして大変勉強になりますし、貴重な機会を与えていただいたのだと感謝しています。色々な活動に自分からどんどん積極的に参加する事で中央会が何倍にも楽しいものになると何とておりますので実践して行きたいと思っております。何卒、宜しくお願い申し上げます。

平成11年度通常総会開催案内

と き 平成12年7月17日(月) 18:30開始
 と ころ ホテルサンルート米子
 内 容 (1) 総会
 第1号議案 平成11年度事業報告書並びに収支決算承認の件
 第2号議案 平成12年度事業計画並びに収支予算書(案)承認の件
 (3) 卒会式
 (4) 懇親会
 ※お車までのご参加はご遠慮下さい。

7月役員会報告

7月定例役員会が平成12年7月3日(月)、「海潮園」に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。
 (1) 平成11年度事業報告
 (2) 平成12年度事業計画
 (3) その他
 ※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

Handsome

発行人: 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田 收 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷所

この1年を振り返り

鳥取県西部中小企業青年中央会 第25期会長 堀田 收



この1年間を振り返ると、昨年7月25周年記念式典から、あっという間に1年間が過ぎ去ってしまったように感じます。

個人としては、会長として充分にお役に立てたかははなはだ自信はありません。まだまだやり残したこともあるかと思いますが、ここまで会長の任を果たせたのは会員の皆様のご支援によるものだと思っています。この1年間、会員の皆様の青年中央会に対する熱意とご努力によりまして素晴らしい活動を行い、立派な成果を上げて頂いたことを心から感謝申し上げます。

本年度、鳥取県西部中小企業青年中央会は昭和50年の本会結成以来、先輩の皆様方のたゆまぬご努力と親会である鳥取県中小企業団体中央会を始めとして、多くの皆様方のご支援によりめでたく25周年を迎えることができました。本年度は「維(つなぐ)」をスローガンとし、これまでの4半世紀を集大成し、また本会のこれからのあるべき姿と方向性を改めて見つめなおす年だと位置付けました。まず25周年記念事業の分科会発表をベースにしてテーマ別にビジネス・マネージメント、環境・教育、広域ビジョン、グランドデザイン、総務の5グループ9委員会の構成に致しました。各委員会の成果は6月例会で各委員長から発表頂き、委員会報告書にも詳しく掲載してもらっています。各委員長は個性を十分に発揮され、それぞれのテーマを掘り下げて取り組み、次年度に立派に継いで頂いたと思います。本当に有難うございました。

そして本年度は9名の卒会者を送らせて頂きます。卒会者の方々にはこれまで本会の発展の為に尽力頂き本当に有り難うございました。これからも企業の発展と地域の為に益々活躍されますことを祈念致します。

私たちは21世紀に向かって、当会がその目的であります中小企業の活性化、特に中小企業の人材育成の面でお役に立ち、そのことを通じて少しでも地域社会に貢献したいと決意を新たにしています。本年度大変お世話になりました先輩の皆様方、関係者の方々には心より御礼申し上げますとともに、今後とも変らぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。最後になりましたが、次年度には第26期土井会長を全員で支えていただき、更なる歴史を継いでいただきますようお願い致します。

以上をもちまして1年間のお礼の言葉とさせていただきます。

次年度 スローガン決定!

「志と実学」(英知を養う)(フィロソフィア)

21世紀は英知の時代——知識人ではなく 知恵者になる

(評論家はいらぬ 我々は未来を切り拓く実践者なり)



6月例会報告

今年度委員会報告並びに次年度委員長抱負



平成12年6月15日(木)米子国際ホテルに於いて広報委員会の担当で6月例会が開催された。委員会報告に先立ち、堀田会長より、「25年の集大成として一つの区切りをつけ、次年度の橋渡しの報告を行い、今後も切磋琢磨しながら委員会活動を行っていただきたい。」と挨拶のあと高橋新入会員のバッジ授与式が行われた。



委員会タイムでは、畠山広幸会員から、中央会ホームページの紹介があり、「ハンサムがカラーで紹介される様になったり、21地球委員会の作成したケナフのホームページが盛り込まれるなど、他団体と比較しても充実した内容のホームページになってきている。」との報告があった。



その後、平成11年度の各委員会委員長より第25期の総決算といえる委員会報告が行われた。各委員長は1年間の委員会活動を5分という短い時間の中に凝縮することに苦労しながらも、「委員長になるにあたりその任務の重さを厳粛に受けとめた」こと、「運営にあたっては試行錯誤の連続」であり、「周囲の後押しがなければ1年を大過なく過ごすことができなかった」と会員や関係者に感謝の言葉を贈られた。各委員長はそれぞれ熱弁をふるわれ、ホワイトボードを利用したりと工夫を凝らしながらの報告は、各委員長が1年間のまとめ、それを次年度に継いでいこうという思いが強く感じられるものであった。報告の最後に堀田会長より「節目の年に各委員会をうまくまとめられた。」と各委員長の奮闘をねぎらわれた。



続いて土井次年度会長が、「企業人よ自信を取り戻せ、そして経営者よ目覚めよ」と熱き思いを語られ、更に「志を持ち、情熱のベクトルを揃えていこう」と次年度を迎えるにあたり全員にエールを送られた。



最後に、次年度各委員長が担当委員会の運営に対しての決意を个性的に述べられ閉会となった。



3団体交流サッカー大会

去る6月6日、7日の2日間にわたり、米子市営東山運動公園内グラウンドにて、西部青年中央会および米子青年会議所、米子商工会議所青年部の交流サッカー大会が開催された。

初日を前半、2日目を後半としたダブルヘッダーで、前半は3名の助っ人(境港J.C)の活躍もあり、我が「中央会即席サッカー部」は両チームに対して0-2と健闘した。助っ人不在の後半は大苦戦を強いられたものの、エースストライカー後藤(公)会員のミラクルシュートで両チームに一矢報いることができたのであった…。

秋には「青経連サッカー大会」があります。この度の敗戦を糧として、揃いのカッコいいユニフォームをつくりましょう。そうすれば否応なしに練習するでしょう(せっかくのユニフォームを着るために)。そして秋にはリベンジ!有志(勇士)求む!

尚、結果は以下のとおり。

中央会	1 (0-2)	7	米子JC
中央会	1 (0-2)	4	青年部
青年部	5 (2-2)	2	米子JC

優勝:米子商工会議所青年部

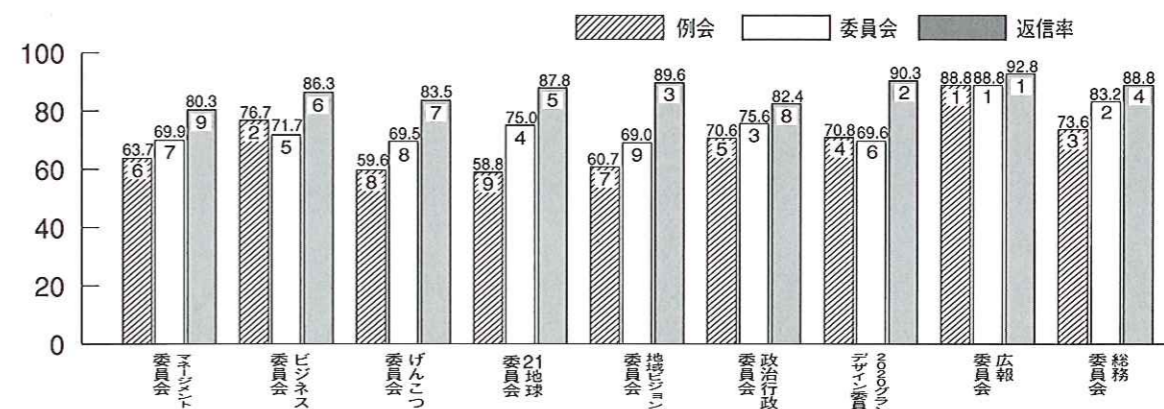
2位:米子青年会議所

3位:西部青年中央会



追伸、米子信金さんよりお借りしたユニフォームをまだ返していない方。お近くの支店から「境港支店の夏野次長に…」と、早急にお返し下さい。

平成11年度委員会別出席率



平成11年度皆勤賞、精勤賞対象者

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 皆勤賞 | 精勤賞 |
| (げんこつ) 植田 秀夫 | (げんこつ) 仲前 晴泰、倉敷 充敏 |
| (21地球) 萬田 寿夫 | (21地球) 岩崎 康朗、高田 孝志 |
| (政治行政) 石指 智、土井 裕次 | (政治行政) 後藤 秀之、長谷川 郁、水 康徳 |
| (広報) 追谷 和之、河端 謙治、後藤 公平、 | (2020GD) 前田 真、種 克則、金田 雅史、 |
| (総務) 岡本 康朋、中原 浩二、大田 修一 | (広報) 武海 章、夏山 裕一、 |
| | (広報) 尼子 健、高村 和也、畠山 広幸、 |
| | (総務) 花園 直樹、南 順三、 |
| | (総務) 福田 一哉、渡辺 一徳 |

「カレーの食い過ぎ、あしんど(愛進堂)」

「なあ桶さん、1300グラムのカレーって食べれえだあか？」筆者のこの不用意なひとことから広報有志による無謀とも呼べる挑戦が始まった。

ときは5月16日水曜午後7時。市内某所にあるカレー屋さんにて4名がその姿を現す。異常にはしゃぐ後藤、笑いころげる桶村、その巨体をして含み笑いの長谷川、そして卒会記念にとだまらかせて誘い出された河端監事。「わしゃ、あくまで立会人だけだ！」と宣言するものの、そんな宣言など何の意味も持たないことは当人が百も承知。異種格闘技戦の模様を呈する痛食会がその幕をあげる。

読者諸兄の期待通り長谷川1300グラム、後藤は1500グラムのカレーを注文。片や桶村、河端監事は量こそ控え目だが各々3辛と4辛を注文。完食目指してスプーンを口に運ぶ。「うわっ、か〜ら〜っい！」幾度となく幽体離脱を繰り返し涙目で助けを乞う桶村。カバチばかりでちっともペースの上がらない後藤。4つの胃袋を使い黙々と反芻する長谷川、そんなイロモノ達に囲まれても自らのペースを守り、完食に向けて鬼気迫る表情で奮進する河端監事。カッコいいぞ、河端監事！行け行け、河端監事！でも、でも、毛穴は全開だし、汗まみれじゃないかあ〜！

はたして激闘は終わりを迎えた。周囲の奇異な視線にまったく気づくことのできなかつた4人。今おもえば涅槃に半歩足を踏み入れていたに違いない。辛さと量で立ち直れないボロ雑巾のような桶村と後藤。18分余りで1300グラムを平らげ誇らしげな長谷川。しかし、この日の主役はやっぱりあなただった、河端監事！後輩相手にもいつもとかわらぬ爽やかな笑顔をふりまく。その立ち居振る舞いのひとつひとつがご本人の性善説を裏づけする。が、そんな紳士に饑鬼が言う。「河端さん、ゴチになりますっ！」その笑顔が曇った。「おなかもいっぱいだけど、おまえらとの付き合いもいっぱいだよ。」ポツリとつぶやく口元がやけに寂しそうだった。

(広報/後藤公平)

P.S 河端監事、卒会おめでとうございませう。1年間ありがとうございました。 広報一同

